

情報教育の実践

守谷市立守谷中学校

1 情報スキルに関する取組

(1) 栽培記録を作成しよう

技術科では、ワープロソフトを用いてトマトの栽培記録をまとめる学習に取り組んだ。表を作成し、成長の様子をまとめながら、コンピュータスキルの向上を目指した。他教科においても、学習内容をコンピュータを使ってまとめる活動を取り入れている。目的意識をもたせてコンピュータを使う場면을意図的に設定することで、小学校で身に付けてきたスキルをさらに向上させるようにしている。



(2) タブレットを用いた調べ学習



左の写真は、2学年で東京校外学習へ向けての調べ学習をしている様子である。中学校にもタブレットが導入され、コンピュータ室に行かなくてもインターネットによる調べ学習ができるようになり、情報収集力の向上を図っている。

インターネットだけでなく、図書資料や地図を併用しながら調べるように助言することで、多様な手段で情報を集めることができるようになった。

2 情報モラルに関する取組

(1) スタディノート「電子掲示板」の活用

守谷市では小学校段階において、スタディノートの活用が図られている。本校ではそれをさらに発展させて、社会科で「憲法改正の是非」についてスタディノートの「電子掲示板」を用いて生徒同士で意見交換を行った。友達に対して意見を述べる際に、学習時に適切でない表現をしてしまう生徒が一部で見られる。情報発信をする際の留意点を指導することで、情報社会への参画において責任ある態度で臨むことができるようにしていきたい。



3 学校独自の取組



情報機器を活用する際に、「効果」と準備の「手間」のバランスに悩むことが多い。本校では書画カメラを活用することによって、少ない手間で大きな効果を生むことができるようになってきた。左の写真は、イカの解剖の様子を演示実験する際に、電子黒板に拡大提示ながら説明している場面である。今後は増設された電子黒板と、タブレットのカメラ機能を活用して、分かる授業の展開に努めていきたい。

4 成果と課題

一部の職員だけでなく、職員全体で情報機器を活用して授業を展開する意識が見られるので、それらを実践例としてまとめていくことで、さらなる意識の向上に努めたい。タブレットの活用について職員研修を実施して、授業における実践事例を積み重ねていきたい。